

様式4

復興庁

公開プロセス結果の平成32年度予算概算要求への反映状況

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

(単位：百万円)

事業番号	事業名	平成30年度 補正後予算額	平成30年度		公開プロセス		令和01年度 当初予算額 A	令和02年度 要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考
			執行可能額	執行額	評価結果	取りまとめコメント(概要)				反映額	反映内容	
0117	復興水産加工業等販路回復促進事業	1,254	1,254	1,159	事業内容の一部改善	○アウトカムについては、ニーズを適切に把握しニーズに合った的確な指標・アウトカムの設定を必要とする。 ○終期については、事業の効果を検証し、予算規模も含め検討する必要がある。	1,227	1,182	▲44	年度内に改善を検討	○公開プロセスでの指摘を踏まえ、現在設定しているアウトカムに加え、新たなアウトカムとして、「水産加工業等販路回復取組支援事業を実施した者の内、売上目標を達成した者の割合が全体の8割以上」を追加する方向で検討・集計中。 ○新たなアウトカムは、水産加工業等販路回復取組支援事業を実施した加工業者等が、販路回復アドバイザーと相談・協議の上で、それぞれの課題を踏まえ設定した売上に関する目標を用いる方針。 ○事業の終期及び効果の測定については、復興の進捗に合わせて水産加工業の状況も変化の中で、真に必要な支援を実施できるよう、検討する。 ○復興ステージの進展に伴い、被災県水産加工業を取り巻く状況が変化する中で、本事業に対するニーズも多様化している。その上で「予算の使途が販路回復のための機器取得に偏っており、次年度以降の予算規模を含めた事業のあり方を見直すべき。」とご指摘を踏まえ、機器取得の支援(ハード支援)から、販路開拓に向けた個別指導の実施、商談会の開催や被災県産水産物の安全性や魅力を発信する取組等への支援(ソフト支援)に重点を移していく方針。	農林水産省 において執行
0126	福島イノベーション・コースト構想推進施設整備等補助金(地域復興実用化開発等促進事業)	5,719	5,719	4,228	事業内容の一部改善	○アウトカム指標の設定は難しい面はあるが指標を多面的(雇用への寄与、域内人口の増加、特許出願件数等)に設定すべき。 ○実用化・事業化の成功・失敗の原因を精査した上で、効果的な事業実施に努めるべき。	5,702	5,701	▲0	年度内に改善を検討	・目標の達成状況について、本事業は平成28年度から開始しており、採択する事業者の計画は3年間を想定している。昨年度末時点で16件が事業化に至ったところ。今年度以降、これまで支援してきた計画や現在支援している計画の事業化が増加することを見込んでおり、目標の達成に向け、引き続き採択事業者への支援を行ってまいりたい。 ・現在、復興創生期間後も見据えた浜通り地域等の自立的・持続的な産業発展を図るためのビジョンを策定中であり、ビジョンの内容を踏まえ、本事業の新たなアウトカム指標を検討してまいりたい。	経済産業省 において執行
0161	中間貯蔵施設の整備等	218,091	176,430	167,519	事業内容の一部改善	○入札の競争性、公平性を高めるために、やり方や説明の仕方にさらに工夫が必要であるが、引き続き事業を強力に推進すべき。 ○契約毎に価格の妥当性の検証を励行願いたい。	208,127	561,156	353,029	現状通り	要求にあたっては事業の精査を行い、予算の適正化をはかった。 執行についても適切な額となるよう、検証を励行し、支出先の選定に当たっては、より競争性、公平性を高める取り組みを実施する。	環境省 において執行
合計		225,064	183,403	172,906			215,055	568,040	352,984	-		

注1. 該当がない場合は「-」を記載し、負の数値を記載する場合は「▲」を使用する。

注2. 「執行可能額」とは、補正後予算額から繰越額、移流用額、予備費等を加除した計数である。

注3. 「反映内容」欄の「廃止」、「縮減」、「執行等改善」、「予定通り終了」、「現状通り」の考え方については、次のとおりである。

「廃止」：平成30年度の点検の結果、事業を廃止し平成31年度予算概算要求において予算要求を行わないもの(前年度終了事業等は含まない。)

「縮減」：平成30年度の点検の結果、見直しが行われ平成31年度予算概算要求において何らかの削減を行うもの(事業の見直しを行い、部分的に予算の削減を行うものの、事業全体としては概算要求額が増加する場合も含む。)

「執行等改善」：平成30年度の点検の結果、平成31年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、明確な廃止年限の設定や執行等の改善を行うもの(概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものに限る。)

「年度内に改善を検討」：平成30年度の点検の結果、平成30年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、平成30年度末までに執行等の改善を検討しているもの(概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものは含まない。)

「予定通り終了」：前年度終了事業等であって、予定通り事業を終了し平成31年度予算概算要求において予算要求しないもの。

「現状通り」：平成30年度の点検の結果、平成31年度予算概算要求の金額に反映すべき点及び執行等で改善すべき点がないもの(廃止、縮減、執行等改善、年度内に改善を検討及び予定通り終了以外のもの)